



令和 7 年 11 月 20 日

報道機関 各位

### マームとジプシー『線に宿る 点を巡る 夜を歩く』 作品制作・稽古、及び公演開催について

上田の夜をテーマとしたマームとジプシーの藤田貴大の新作舞台『線に宿る 点を巡る 夜を歩く』を発表します。サントミュージゼでは、レジデント・アーティスト事業として、マームとジプシーの藤田貴大と共に、2023 年より上田の街のフィールドワークとそれをテーマとした作品の発表をおこなってきました。2023 年には、上田市内の高校演劇部（班）に所属する高校生たちと、彼らのエピソードをもとにした『chair 0』を製作。2024 年には、ワークショップ参加者と会場内に上田市の地図をはりめぐらせ、映像や音、テキストを一つの空間に融合させたインスタレーション作品『線に宿る／点を巡る』を発表しました。事業 3 年目となる今年の公演『線に宿る 点を巡る 夜を歩く』では、約 3 年間のフィールドワークで出会った人々、その生活や日常、時間と共に少しずつ変化してきた街の景色を手がかりに、夜という時間の中で上田の街を描きます。報道の皆様におかれましては、稽古や公演への取材について、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

#### レジデント・アーティスト事業『線に宿る 点を巡る 夜を歩く』

##### (1) 概要

作・演出：藤田貴大（マームとジプシー）

出演：青柳いづみ 高宮梢 的場裕美 古田恒河

##### (2) スケジュール

###### ①作品制作・稽古

期間：11 月 17 日（月）～11 月 28 日（金）（火曜日休館）

会場：サントミュージゼ 大スタジオ 他

###### ②公演『線に宿る 点を巡る 夜を歩く』

公演日：11 月 29 日（土）、30 日（日） 各日 14:00 開演（13:30 開場）

会場：サントミュージゼ 小ホール



撮影：井上佐由紀  
藤田貴大（マームとジプシー）

※取材希望の場合は前日までに上田市交流文化芸術センターへお知らせください。

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



問合せ先：上田市交流文化芸術センター

（副館長）堀内（担当）横尾、中沢

電話 0268-27-2000 FAX 0268-27-2310

E-mail santomyuze@city.ueda.nagano.jp



### プロフィール

藤田貴大 Takahiro FUJITA

マームとジプシー主宰／演劇作家

1985 年 4 月生まれ。北海道伊達市出身。桜美林大学文学部総合文化学科にて演劇を専攻。07 年マームとジプシーを旗揚げ。以降全作品の作・演出を担当する。作品を象徴するシーンを幾度も繰り返す“リフレイン”の手法で注目を集める。11 年 6 月-8 月にかけて発表した三連作「かえりの合図、まっていた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。」で第 56 回岸田國土戯曲賞を 26 歳で受賞。以降、様々な分野の作家との共作を積極的に行うと同時に、演劇経験を問わず様々な年代との創作にも意欲的に取り組む。13 年、15 年に太平洋戦争末期の沖縄戦に動員された少女たちに着想を得て創作された今日マチ子の漫画「cocoon」を舞台化。同作で 2016 年第 23 回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。演劇作品以外にもエッセイや小説、共作漫画の発表など活動は多岐に渡る。